

# 市が、ごみ袋有料化・古紙報奨金廃止の検討

## 「ごみ袋有料化」78%が「しないで」 「古紙回収への報奨金廃止」67%が「困る」

宇治市は、「厳しい財政事情の中」「新たな財源確保のため」、「有料ごみ袋の導入」と「古紙回収の報奨金制度の見直し」の方向を示しました。党議員団は、この問題で、自治会長・町内会長を対象にアンケート調査を実施しました。

### ごみ処理基本計画(素案)

## ごみ袋を有料化 古紙回収報奨金は廃止

宇治市は、「宇治市ごみ処理基本計画(素案)」を市民環境常任委員会に報告、そのなかには「有料ごみ袋の導入」「古紙回収の報奨金制度の見直し」と記されています。

有料ごみ袋制は、市が指定する袋に入れないとゴミは収集しない、指定袋は通常の袋代にごみ処理分を上乗せする

というもの。京都市の場合では、45リットルが1枚45円で、全国の自治体では80円という例もあります。

古紙回収報奨金制度は、町内会やPTAなどが古紙回収に集団で取り組む場合にできる報奨金制度です。500以上の団体が、集団回収に取り組んで報奨金を受け取っています。

### 共産党議員団

## 町内会長を対象に アンケート調査実施

共産党は、「財政健全化推進プラン」の第2弾として、新たな市民負担を押し付けるものだと厳しく批判しました。

同時に広く市民の意見を聞かせていただくとうと、自治会長・町内会長にアンケート調査用

紙を郵送し協力をお願いしました。11月26日までに回答をいただいた119通(回収率20.6%)について集約しました。

### アンケート調査への回答

#### ごみ袋有料化について

有料化はしないでほしい	93人	78.1%
有料化は必要	17人	14.2%
その他	9人	7.5%
未記入	0人	—
合計	119人	—

#### 古紙回収報奨金制度について

見直しは困る	74人	66.6%
見直してもよい	27人	24.3%
その他	10人	9.0%
未記入	8人	—
合計	119人	—

11月26日現在の集計

## ごみ袋有料化

## ごみ減量の効果は疑問

## 報奨金は、町内の貴重な財源

有料ごみ袋については、「有料化しないでほしい」が78%、「有料化が必要」14%でした。

「有料化には断固反対である」、「有料化でごみの減量効果は考えにくい」、「町内会員では有料化は望ましくないとこの意見がほとんどです」、「スーパ、コンビニなどに家庭ごみを捨てる人が増える」、「家庭から出るご

た方の中には、「減量化につながるのなら」「環境、ごみ減量のためだつたら」と条件を付けた方が何人も含まれています。

報奨金の見直しについては、「見直しは困る」が67%、「見直してもよい」が24%でした。

「町内会の貴重な財源」、「みなさんきっちり出して、雨の日はシートをかぶせるなど協力している。いまのままで」、「子どもたちのためにも現行でお願いしたい」、「一枚の紙でもごみにせず古紙に出してください」とみなさんが言っている。

金はないのでやめますは身勝手、「町内行事や防災活動に役立っている。自治会運営に協力して」、「報奨金は役に立っている」など、町内会・自治会やPTAや子ども会などの貴重な財源となっている実情が語られています。

見直してもよいと回答された方のなかには、「見直してもよいが、報奨金の分を有料袋制に充てて有料にしないで」、「市の財政が苦しいようなので、2

割減額程度の見直しなら、「見直して増額して」という意見を含んでいます。

アンケートの回答には、ごみの分別や資源化に取り組む地域の活動が反映されています。これ以上の負担増加への反対も数多く表明されています。

市は「厳しい財政事情の中」「新たな財源確保のため」といいますが、市民に負担を押し付けておいてその一方で、目的も効果もはっきりしない歴史公園事業に巨額の税金を投入しています。税金の使い方が間違っているのではないのでしょうか。

世論の力で、「有料ごみ袋制」「古紙回収助成の廃止」をストップしましょう。

### 日本共産党 宇治市会議員団だより

2018年12月9日  
電話 22-3141 (市役所)  
(内線) 2817 (議員団室)  
FAX 24-7884 (直通)